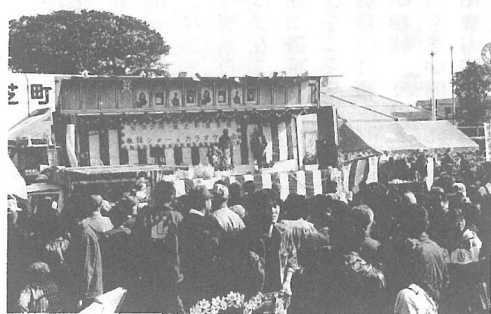


農 業 祭 '93



約6時間も焼かれた牛の丸焼き



町農業振興会とJA山武の共催による第20回農業祭が、11月22・23日の2日間、町文化会館を会場として開催されました。22日には、共進会が行なわれ、農家のみなさんが丹精込めて作った野菜など96点が出品されました。今年は、暖かかったせいか昨年よりも品数が多く、どれも甲乙をつけがたい優秀な作物ばかりでした。

23日は、みなさんが楽しみにしていた即売。各コーナーでは、大根や白菜、ごぼうなどの野菜のほか、牛肉や草花も売られ、「安くて新鮮だから」と両手いっぱい買い込む人の姿も見られました。また、20回記念ということで、牛一頭が丸焼きにされ、来場者に無料で配られました。

そのほか、手づくりのサケ汁、甘酒、もつ煮等の試食・試飲やもちつき大会、歌謡ショーなども行なわれ、終日、大勢の人で賑わいました。

なお、共進会の主な結果は次のとおりです。

特別賞

- トマト 鈴木 博(中台)
- 齋藤精治(栗山) 齋藤信子(栗山) 若梅喜作(栗山)
- ミニトマト 木島昇(新島)
- 大根 瀬利竹司(中台)
- 秋鹿時男(中台)
- ねぎ 伊野武司(鳥喰下)
- 川島喜一(北清水)
- エシャレット 清宮喜美子(新島)
- にんじん 怒賀節子(中台)
- きゅうり 伊東利江(新島)

敬称略



フワフワ、は子どもたちに大人気



おいしい大根の無料配布に大勢の人が集まりました。



文 芸

俳 句

つま楊枝に差したる零余子の旅の
行方はじめ
膳 孫子等とそば食ふ団樂除夜の鐘
若梅あやめ
老いらくの日々つらぬきて師走来
海保 きみ
小豆干す冬日集めし一とむしろ
鈴木 草庵
短日や拳ふりふり風の中
鈴木 南知

石仏と並ぶ信濃の小春かな
藤代 ゆう

知らぬ間に膝揉んでゐる日当ほこ
勝又 和徳

砂時計音なき音に暮るる年
山口 一秋

何買うとなしに師走の町抜ける
玉虫たけし

月冴ゆる歩調ととのへ川渡る
戸村 静華

強風に利鎌の月の白く冴え
選者 土屋 栗水

短 歌

花柄の鏡台掛けを縫ひをへて秋の
氣のする夕庭にたつ
向後 房

秋の陽は甘藷畑の子鼠の赤きはだ
へを透きて照らせり
掛川 友代

遠き日に延焼防ぎ繻の木のみどり